

「国会軽視の先走り」

茨城新聞22日付や大分合同新聞24日付などは「国会軽視の先走りだ」と題する論説を掲げ、日本共産党の小池晃参院議員が暴露した防衛省の内部資料を大きく取り上げています。この問題に対する国民的な関心の高まりを示すものといえます。

論説は、中谷元・防衛相が内部文書を「私の指示の範囲内」と説明しながら、国会で暴露されるまで3カ月間内容を把握していなかったことをあげ、「これで文民統制が機能していたと言えるのか」と指摘。8月に

小池氏暴露資料もとに批判

茨城新聞・大分合同新聞

「法案成立」、来年2月に「法施行」を明記した文書を、「国会軽視の姿勢であり、『先走り』との指摘は免れない」と批判しています。

また、沖縄県で墜落した米軍ヘリに陸上自衛隊の特殊部隊員が「研修」名目で同乗していた（12日）ことにもふれ、「日米の軍事的な一体化が既成事実のようになっているのではないかと危惧しています。

9月上旬の採決・法案成立という与党の日程検討については、「こうした根本的な疑問が浮上する以上、審議はまだ不十分だ」とし、この問題での徹底審議を求めています。